

序 文

三重県の名勝に指定されている宮川堤は、古くから桜の名所として有名です。「一目千本桜」といわれた桜並木は「さくら名所100選の地」に選ばれ、4月上旬の開花時期には、毎年大勢の人々でにぎわいます。

桜並木としては、かつて1,000本余りの桜があったようですが、現在は約850本となり、古木も多く樹勢の衰えが見られます。さらに、宮川堤の改修計画により200本余りの桜を伐採することになり、名勝としての景観は大きく変わらざるを得なくなりました。

この貴重な景観を後世に伝えていくことが私たちの責務であることから、堤防改修の現状変更にあたり、この指針を策定いたしました。本書では、桜をはじめとする名勝構成要素の現況、周辺の環境を踏まえ、桜の更新及び復元の方法などを示し、今後の課題にも触れております。

最後になりましたが、本書の刊行にあたり、御協力をいただきました関係各位に御礼申し上げます。

平成27年3月

伊勢市教育委員会

教育長 宮崎 吉博